



備蓄用感染防止衣購入

実施設計書

物 品 番 号 救急需第11号

納 入 場 所 兵庫県西脇市野村町1796番地の502 (北はりま消防本部)

業 務 概 要 備蓄用感染防止衣の購入

北はりま消防組合

| 内 訳 | | | | 概 要 |
|--|-----|------|-------------|--------------------|
| | 実施 | 今回変更 | 増減額 | 備蓄用感染防止衣 |
| 設計額 (内消費税) | 円 | 円 | 円 | ・救急隊用感染防止衣 上衣 720枚 |
| | () | () | () | ・救急隊用感染防止衣 下衣 720枚 |
| | | | | ・救助隊用感染防止衣 上衣 160枚 |
| 請負額 (内消費税) | 円 | 円 | 円 | ・救助隊用感染防止衣 下衣 160枚 |
| | () | () | () | |
| 執行方法 | | 納入期限 | 令和8年1月30日まで | |
| (起工理由) | | | | |
| 救急隊員及び救助隊員の感染防止対策に万全を期するため、救急隊及び救助隊用感染防止衣を備蓄用に購入するもの | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

備蓄用感染防止衣購入仕様書

1 総則

本仕様書は、北はりま消防組合（以下「当組合」という。）が購入する備蓄用感染防止衣について必要な事項を定める。

2 品名及び数量

| | | | |
|-----|-----------|--------------|------|
| (1) | 救急隊用感染防止衣 | 上衣（ジャンパータイプ） | 720枚 |
| (2) | 救急隊用感染防止衣 | 下衣 | 720枚 |
| (3) | 救助隊用感染防止衣 | 上衣（ジャンパータイプ） | 160枚 |
| (4) | 救助隊用感染防止衣 | 下衣 | 160枚 |

3 納入場所

兵庫県西脇市野村町1796番地の502（北はりま消防本部）

4 納入期限

令和8年1月30日（金）まで

5 材質

ポリプロピレン（不織布）、ポリプロピレン（通気性フィルム）

6 カラー

- (1) 救急隊用感染防止衣（上衣・下衣）：ブルー
- (2) 救助隊用感染防止衣（上衣・下衣）：オレンジ

7 用途

血液、ウイルス、体液等からの感染防止

8 構造

- (1) 救急隊用感染防止衣（上衣・下衣）

ポリプロピレン製スパンボンド工法の不織布で、ポリプロピレン透湿性フィルムを挟み込んだ三層構造とし、一類、二類、三類、四類、五類の感染症に有効であり、人工血液バリア性能及びウイルスバリア性能ともに最高レベルのクラス6をクリアすること。

また、中間フィルターには、安定的なバリア性能を確保するため、無孔質フィルムを使用すること。

各試験項目の数値は、別表1「救急隊用感染防止衣性能一覧表」のとおりとする。

- (2) 救助隊用感染防止衣（上衣・下衣）

ポリプロピレン製スパンボンド工法の不織布で、メルトブロー工法不織布を挟み込んだ三層構造とし、撥水性が高く、バリア性に優れたものとする。

各試験項目の数値は、別表2「救助隊用感染防止衣性能一覧表」のとおりとする。

9 基本形状

(1) 救急隊用感染防止衣 上衣 (ジャンパータイプ)

ア 長袖 (筒袖型) で首元・背中まで覆うもので、スタンドカラー面ファスナー付きとすること。

イ スタンドカラー前面ファスナー上部及びジッパーカバーには、マジックテープを設けること。

ウ フロントセンターファスナーで止コイルファスナーであること。また、左腕部にペン差し、左右脇並びに左胸にポケットを設けること。

なお、各ポケットにはマジックテープを取り付けること。

エ 裾は、右側と左側にゴムで絞り込みを持たせること。

オ 袖口は、ゴムで絞り込みを入れ、伸縮性を持たせること。

カ 左胸部分と背面部分に別紙「救急隊・救助隊用感染防止衣 (背面・左胸) プリント」に定める文字をプリントすること。

キ 上衣内側の両脇下に保冷剤ポケットを設けること。

Sサイズの両脇のポケットの寸法は、縦23cm (±2cm) ×横16cm (±2cm) とし、Mサイズ以上は縦23cm (±2cm) ×横18cm (±2cm) とすること。

ポケットの位置は、両脇下3cm (±1cm) の位置に取り付けること。

(2) 救急隊用感染防止衣 下衣

ア 腰部分及び裾口部分には、ゴムで絞り込みを持たせること。

イ 右腰部分に面ファスナー付きで、止コイルファスナーであること。

(3) 救助隊用感染防止衣 上衣 (ジャンパータイプ)

ア 長袖 (筒袖型) で首元・背中まで覆うもので、スタンドカラー面ファスナー付きとすること。

イ スタンドカラー前面ファスナー上部及びジッパーカバーには、マジックテープを設けること。

ウ フロントセンターファスナーで止コイルファスナーであること。また、左腕部にペン差し、左右脇並びに左胸にポケットを設けること。

なお、各ポケットには、マジックテープを取り付けること。

エ 裾は、右側と左側にゴムで絞り込みを持たせること。

オ 袖口はゴムで絞り込みを入れ、伸縮性を持たせること。

カ 左胸部分と背面部分に別紙「救急隊・救助隊用感染防止衣 (背面・左胸) プリント」に定める文字をプリントすること。

(4) 救助隊用感染防止衣 下衣

ア 腰部分及び裾口部分には、ゴムで絞り込みを持たせること。

イ 右腰部分に面ファスナー付きで、止コイルファスナーであること。

10 購入内訳

感染防止衣のサイズごとの数量は、以下のとおりとする。

(1) 救急隊用感染防止衣 上衣 (ジャンパータイプ)

ア Sサイズ 70枚

イ Mサイズ 200枚

ウ Lサイズ 300枚

エ LLサイズ 150枚 計720枚

(2) 救急隊用感染防止衣 下衣

ア Sサイズ 70枚

イ Mサイズ 200枚

ウ Lサイズ 300枚

エ LLサイズ 150枚 計720枚

(3) 救助隊用感染防止衣 上衣 (ジャンパータイプ)

ア Mサイズ 30枚

イ Lサイズ 100枚

ウ LLサイズ 30枚 計160枚

(4) 救助隊用感染防止衣 下衣

ア Mサイズ 30枚

イ Lサイズ 100枚

ウ LLサイズ 30枚 計160枚

11 検査

納入時に当組合担当課職員の立会いの上で外観検査等を実施し、不具合等がある場合は、速やかに交換すること。また、検査後であっても不良品については、受託者が全て責任を持って対応すること。

12 包装

納入時は、上衣及び下衣ともに1枚ごとに透明袋に収納しておくこと。

救急隊用感染防止衣性能一覧表

| 試験項目 | | 試験結果 | 試験方法 |
|--------------------------------|----------|-----------|---|
| 単位面積当たりの質量 (g/m ²) | | 60.0 以上 | JIS L 1085 |
| 厚さ (mm) | | 0.50 以上 | JIS L 1085 A 法 荷重 : 0.5kPa |
| 引張強さ (N) | 縦 | 129.0 以上 | JIS L 1096 A 法 カットストリップ法準用 引張速度 : 30cm/min つかみ間隔 : 10cm 試験片幅 : 5cm 試験機 : 定速伸長形 |
| | 横 | 64.0 以上 | |
| 伸び率 (%) | 縦 | 63.0 以上 | 試験機 : 定速伸長形 |
| | 横 | 62.0 以上 | |
| 引裂強さ (N) | 縦 | 57.0 以上 | JIS T 8115 |
| | 横 | 71.0 以上 | |
| 屈曲強さ (回) | 縦 | 15000 を超え | JIS T 8115 |
| | 横 | 15000 を超え | |
| 透湿度 (g/m・h) | | 500 以上 | JIS L 1099 A-1 法 |
| 耐水度 (mm) | | 2000 以上 | JIS L 1092 A 法 |
| 液体浸透圧力 (kPa) | 30%NaOH | 35 | JIS T 8115 |
| | アセトン | 35 | |
| | メチルアルコール | 30 | |
| 耐液体浸透性 ・反発性 (10%NaOH) | 浸透指数 | 0.0 | JIS T 8115 |
| | 反発指数 | 98 以上 | |
| 人工血液バリア性 | | クラス 6 合格 | JIS T 8060 B 法 |
| ウイルスバリア性 | | クラス 6 合格 | JIS T 8061 B 法 |

※化学防護服タイプ 4、タイプ 5、タイプ 6 適合品であること。

救助隊用感染防止衣性能一覧表

| 試験項目 | | 試験結果 | 試験方法 |
|--------------------------------|---|--------------|--|
| 単位面積当たりの質量 (g/m ²) | | 43.0 以上 | JIS L 1085 |
| 厚さ (mm) | | 0.30 以上 | JIS L 1085 A 法 一定圧力 : 0.5 kPa |
| 引張強さ (N) | 縦 | 92.0 以上 | JIS L 1096 A 法 カットストリップ法準用 引張速度 : 30cm/min つかみ間隔 : 10cm 試験片幅 : 5cm |
| | 横 | 54.0 以上 | |
| 伸び率 (%) | 縦 | 43.0 以上 | |
| | 横 | 51.0 以上 | |
| 引裂強さ (N) | 縦 | 25.0 以上 | JIS T 8115 トラペゾイド法 引張速度 : 10cm/min 試験片幅 : 7.5cm |
| | 横 | 41.0 以上 | |
| 耐水度 (mm) {kPa} | | 500 {4.9} 以上 | JIS L 1092 A 法 |
| BFE (%) | | 93.0 以上 | ASTM F 2299 |

救急隊・救助隊用感染防止衣（背面・左胸）プリント

1 背面部

(1) 字体

HGP創英角ゴシックUB

(2) 字の大きさ

ア 「HYOGO」は、縦3cm×横2.5cmとする。

イ 「北はりま消防」は、縦×横5cmとする。

ウ 「KITAHARIMA F.D」は、縦3cm×横2cmとする。

(3) 文字列の長さ

ア 「HYOGO」は、15cmとする。

イ 「北はりま消防」は、30cmとする。

ウ 「KITAHARIMA F.D」は、25cmとする。

(4) 文字の横の間隔

各文字の間隔は0.5cmとするが、「KITAHARIMA F.D」のAとFの間隔は2cmとする。

(5) 文字列の位置

襟元から「HYOGO」「北はりま消防」「KITAHARIMA F.D」順で、中央揃えとする。

(6) 文字列の縦の間隔

ア 「HYOGO」は、感染防止衣の襟元から8cm下の位置とする。

イ 「HYOGO」と「北はりま消防」との間隔は4cmとする。

ウ 「北はりま消防」と「KITAHARIMA F.D」との間隔は4cmとする。

2 左胸部

(1) 字体

HGP創英角ゴシックUB

(2) 字の大きさ及び文字列の長さ

「北はりま消防」で、縦3cm×横2.5cmとする。

(3) 文字列の長さ

「北はりま消防」で、15cmとする。

(4) 文字の横の間隔

各文字の間隔は、0.5cmとする。

(5) 文字列の位置

左胸ポケット上方2cmとする。

3 その他

製作に当たっては、当組合担当課職員と調整を図ること。

4 イメージ図

